
 * 土浦平和の会 *
 * ニュース 平成7年9月 NO.20 *

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立2664-2
 TEL 31-9122

核実験再開に抗議する 9・6土浦緊急集会開かれる

フランスの核実験が再会された9月6日夜、これに反対する7団体の主催で抗議集会を開き、核実験の中止、核兵器の廃絶を要求する決議文を採択しました。緊急の取り組みであり、呼びかけが徹底しなかった中で、この日代門ホールの会場に集まった40人の人たちは「フランス・中国の核実験に反対する決議」に賛成するとともに「署名」「抗議行動」への参加を確認しあいました。事務局ではさっそくフランス大使館宛につきのような抗議文を送りました。中国と政府宛の要請文は7団体の協議にもとずいて、後日送付する予定です。

抗議文

茨城県土浦市の七団体は、九月六日貴国と中国の核実験の再開に抗議する緊急集会を開き、核実験の停止と核兵器廃絶を要求する決議を行った。貴国の今回の核実験は核保有国の核独占体制を当然の権利と誤認したうえで、核戦力の強化を計ろうとする覇権主義の現れであり、このことは核競争をさらに繰り返す道につながり、核兵器禁止に向かおうという世界の世論に逆行するものである。貴国政府が今からでも二回目以後の核実験を中止し、核廃絶を求める政策に立ち返られることを強く要求するものである。

一九九五年九月六日
 参加団体

核実験に抗議する9・6土浦緊急集会

- 平和・民主主義・革新統一をすすめる土浦懇談会・土浦平和の会・新日本婦人の会土浦支部
- 土浦民主商工会・茨城県歴史教育者協議会県南支部・茨城県高等学校教職員組合土浦支部
- いばらきコープポッポの会

ジャック・シラク フランス大統領 殿

9・9核実験に抗議するつくば集会

原水爆禁止県南実行委員会の呼びかけによる「フランス・中国の核実験に抗議するつくば集会」が、九月九日11時から、つくば市のクレオ協で開かれ、約150名が参加して座りこみと署名行動をおこないました。3時間で850名分の署名が集まりましたが、中学生・高校生など若者たちの関心が高かったのが特徴的でした。参加団体の代表がマイクを握って通行人に訴えましたが、「核所有国のエゴ」「核独占を永久化するもの」「核廃絶に逆行するもの」「2回目以後の実験の停止を」の訴えに共感の通行人が、進んで署名に集まる姿があちこちに群がる状況が見られました。土浦からも平和の会の会員7名が参加し、200名分の署名を集めました。

なお、9・6土浦緊急集会の呼びかけ7団体は、15日に会合を持ち、土浦市における今後の取り組みについて協議します。

おめでとう

潮来町でアピール署名住民過半数達成 (鹿行平和委員会)

行事ごよみ

- 9月 6日 核実験抗議土浦緊急集会 (代門ホール)
- 9月15日 核実験反対7団体協議会 (土浦民商事務所)
- 9月16・17日 土浦平和の会基地めぐり (横田・厚木・横須賀など)
- 10月 1日 土浦母親大会
- 10月 7日 県平和委員会第3回理事会 (石岡)
- 10月13日 土浦平和の会理事会 (1中地区公民館の予定)
- 10月21日 百里全県統一集会 (22日(日)に変更の可能性もある。)

